

和5年度 第6回教育研究評議会議事要録

日時 令和5年9月14日(木) 13:30~14:45
場所 Teams (オンライン) 開催
出席者 太田学長、久留主理事・副学長(総括理事・教育)、佐川理事・副学長(学術・企画・評価)、井上理事(総務・財務)・事務局長、鳥羽田理事(社会連携・基金運営)、菊池理事(ダイバーシティ・国際・SDGs)、原口人文社会科学部長、野崎教育学部長、岡田理学部長、乾工学部長、宮口農学部長、福與新教育組織(学士課程)設置準備室長、西川全学教育機構長、井上評議員、高橋評議員、瀧澤評議員、下村評議員、田内評議員、鎌田評議員、横木評議員、大久保評議員、安評議員、金野副学長(研究・産学官連携)、増澤副学長(大学院改革・広域連携)
欠席者 羽瀧図書館長、上地評議員、井上評議員
監事監査規則第9条第2項に基づく出席者 人見監事

議 題

審議事項

- 1 教員の任期に関する規程の一部改正について

報告事項

- 1 教員の人事について
- 2 外国(インドネシア・台湾)出張について
- 3 大学をめぐる状況について

議 事 概 要

I 審議事項

- 1 教員の任期に関する規程の一部改正について
学長から、教員の任期に関する規程の一部改正について、資料1に基づき審議願いたい旨の提案があった。次いで、人事労務課長補佐から説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

II 報告事項(○:構成員 ●:報告者、事務局等)

- 1 教員の人事について
学長から、教員の人事について、資料2に基づき報告があった。
- 2 外国(インドネシア・台湾)出張について
理事(ダイバーシティ・国際・SDGs)から、外国(インドネシア・台湾)出張について、資料3-1及び資料3-2に基づき報告があった。
- 3 大学をめぐる状況について
学長から、大学をめぐる状況について、資料4に基づき報告があった。

【主な意見】

○1 day キャンパスで農学部の模擬授業への参加者が少なかったからといって、直ちに農学部入学希望者の減少につながるわけではないと考える。ただし、ライバルとなる大学が多いことは事実なので、そこは考えていかなければならない。また、模擬授業の参加人数が数人であれば、職員のパイプラインを減らす等、来年度以降の開催方法について検討していただきたい。

●楽観視はせず、現状を厳しい目で見えていく必要がある。模擬授業については、参加人数が少なくと効率が悪いかもかもしれないが、しっかりとそこで魅力を伝えていくべきだと思う。

Ⅲ 監事からの意見

・学長から報告があった「大学をめぐる状況」について、高校生の意識の変化に対応した入試の枠組みの見直しや、茨城大学でどんなことを学び研究できるかについて、ターゲットとなる中高生にいかにか効果的に情報を発信しアピールするか、現状を改めて確認し、一層の改革をお願いしたい。

Ⅳ その他

・会議資料の公開について
資料1は非公開、その他すべて公開

次回 教育研究評議会開催

・10月12日（木） 13時30分から